



春日部市議会議員 佐藤 —

はじめ さとう — 後援会だより

絆をつないで、
KIZUNA 活力ある、
魅力ある春日部に

後援会内部資料
第37号 発行
平成29年7月吉日
さとう — 後援会
会長 佐藤松夫
春日部市小湊 1912
Tel/fax
048-761-7753

平成29年6月議会報告（一般質問概要）

1. 「かすかべっ子 インターネット事情」について

平成27年度に春日部市青少年健全育成審議会と教育委員会が実施した「子どもたちのインターネット利用状況等および対策等について（アンケート調査は、児童・生徒が3351名、保護者が2998名、小中学校が37校、高等学校が6校で実施した）質問を行いました。

質問と答弁

① 現在の学校の状況と取り組みについて

- ・小学校6年生と中学校2年生の携帯電話の所有割合は、埼玉県が行った調査における携帯電話の所有割合と比べて高かった。
- ・児童・生徒の中でスマートフォンを所有している者の割合は、低学年であっても所有している。中学生は6割から7割がスマートフォンを所有している。
- ・中学生は、スマートフォン所有者の9割がラインを利用している。
- ・18歳未満の者が使用する携帯電話については、フィルタリングサービスの利用が法律で定められているが「フィルタリングを設定している」と回答した保護者の割合は、各学年とも6割前後であった。
- ・市内の小中学校では、情報モラルなど様々な場面で学習を進めているが、相手の中傷する書き込みや、不適切な画像の送信や投稿などが起きている。これに対し、子どもたちに埼玉県教育委員会発行のリーフレットなどを活用して指導している。また講座を実施して、保護者の参加も呼び掛けている。



② 春日部市青少年健全育成審議会からの事業提案として、家庭での「ルールづくりの推進」「学校でのマナー教育の推進」がありました。

③ 「今後どのような取り組みを行っていくのか」については、啓発チラシを作成し、就学時検診や入学説明会において学校から保護者配布する。春日部市青少年健全育成審議会において、インターネットに関する春日部市の標準ルールの作成に着手に取り組んでいく、との答弁がありました。



2. 「起業家教育」について

これからの日本経済を、牽引する新しい産業を創出すること、そして起業家マインドを持った人材を育成することは、日本経済の活性化に必要なこととあります。また、子どものころから学校で、起業家精神を育成することが大事である、と考えます。

質問と答弁

- ① 起業家教育の概要は、起業家教育とは、キャリア教育の一環で、チャレンジ精神や創造性など「起業家精神」と情報収集・分析力や判断力、実行力など「起業家資質・能力」を有する人材を育成する教育のこと。
- ② 春日部市の取り組み状況と成果と課題については、中学生では、農家の方の指導を受けて米を栽培。収穫して米を企業とタイアップして商品を開発、店頭での販売まで行った。
小学生では、児童がアイデアを出して会社を設立し、企画書の作成、商品の開発、材料の仕入れ、商品づくり、販売まで行った。
成果として、子供自身の意識の変化、職業観・勤労観の醸成、コミュニケーション・礼節の学びがある。課題として、外部との連携、教員の経験や情報源が限られている、等がある。
- ③ 起業家教育の今後の予定については、市内の特色ある起業家教育への取り組みの情報共有に取り組んでいく、等の答弁でした。



3. 6月議会内容について

6月議会内容は、専決処分（本来は議会の権限である事項を、市長が代わって処分すること）の承認4件、条例の一部改正5件、補正予算1件の合計10件でした。

- ・富士見町地下道のエレベーター設置に向けての補正予算756万円が決まりました。調査検討資料策定の費用です。
- ・債務負担行為（予算の先取りを行うこと）補正として、学校給食業務委託（小学校Bブロック、立野小、宮川小、八木崎小、豊春小、内牧小）を、新たな業者との契約締結を行うため限度額2億5729万7千円が決まりました。

所感：富士見町地下道のエレベーター設置に向けての補正予算が計上されました。この工事自体は東武鉄道で行います。なるべく早くに着工して頂きたいものです。今後の動きに着目して参ります。行政視察を7月13日、14日、15日に大分市、延岡市、宮崎市に行き参ります。後日私のホームページで報告致します。※ 9月議会開会は8月21日からです。



これからも、「さとう一^{はじめ}」は、市民の皆様の為に頑張ります!!

公式ホームページ <http://satouhajime.com/>

※ ブログ・facebookページもあります。

